

NPO 法人 純正律音楽研究会会報 ~2024年 11月発行~

ひびきジャーナル



〒169-0073 東京都新宿区百人町 4-4-16-1218 Tel:03-5389-8449
Fax:03-5389-8449 e-mail:puremusic0804@yahoo.co.jp

発行日 2024年 11月 20日
発行責任者 NPO 法人 純正律音楽研究会
編集 相坂政夫

No.81



立冬を過ぎ、吹く風の中にも冬の気配が感じられますが、いかがお過ごしでしょうか。

さて、初代表の玉木宏樹は数多くの作曲をしています。その中でも映画では、「反逆のメロディー」(1970年)、「野良猫ロック 暴走集団71」(1971年)、「影狩り ほえろ大砲」(1972年)、「隠密同心 大江戸捜査網」(1979年)等約14作、また、テレビでは「走れ!ケー100」(1973年)、「まんが日本昔話」(1983年)、「おていちゃん」(1978年)、「大江戸捜査網」(1970年)等約12作、これら作品の中、今でも放映されているテレビがあります。それはBSフジテレビ、毎週火曜日、午後6時30分から「大江戸捜査網」ですが、今年11月5日最終回となりました。作品は666話ありますので、また放映されると思います。

次回の純正律音楽コンサートは12月24日(火曜日)午後2時開演、代々木上原の、古賀政男音楽博物館「けやきホール」にて開催いたします。ご来場いただければ幸いです。

玉木宏樹の意思を継いで「純正律音楽」の普及に邁進していきたいと思っております。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

音楽を通して世界を幸せに

洗足学園音楽大学客員教授・ヴァイオリニスト
NPO 法人 純正律音楽研究会 代表
水野佐知香

人間の一生は宇宙から見たら米一粒みたいなもの、私たちはこの世には修行のために生まれて、また次に生まれ変わった時に成長するためのものと聞きます。私は多くの生徒を教えているし、教えてきましたが、成長する時は、幼稚園、小学校、中学校、高校、大学、卒業後、大人になってから、歳をとつてから、上達する時期が、人それぞれ違うのです。

最近感じることは、基礎はしっかりと身につけて欲しい。でも寄り道をたくさんして欲しい、その経験が先に繋がってくれる。ヴァイオリンを始める年齢にしてもです。7歳になって始めても「無理、遅い」と言われますが、その後の教わり方、前世での経験で上達が変わってくると思っています。そして、ヴァイオリンを、音楽を勉強する上で、他のことはやらずに、練習だけをする環境が大切、とも言われますが、やる気スイッチが入ったら上達できる環境をその前に整えてあげることが、とても大切なことなのでは?と思います。遊ぶこと、いろいろなジャンルの音楽を聴くこと、スポーツなど、たくさんのこと経験して欲しい。何にでも通じると思いますが、音楽、ヴァイオリンを上手になるコツは、たくさんのアイデアで練習の方法を考えること、自分の理想を高く思うことだと思います。音楽が大好き、音楽を通して、世界を幸せにできると嬉しいと思います。

中学生にもなると、反抗期が始まりますが、小さい時に、親御さんに「こうしなさい！練習しなさい！」と言われたお子さんは反抗期が激しいようです。小さい時に、必死に練習して（親と共に）育ったヴァイオリニストの多くに、ある程度の年齢になった時に、精神的におかしくなったり、声が出なくなったり、弾けなくなったりする時期があるようです。（素晴らしい演奏をされるが！）要するに、親ができるることは、楽しみながら努力できる環境を整えること、子どもの自主性を重んじられること、子どもの意見も取り入れながらたくさんのアイデアを考えて練習できることなどである。と考えます。

最近の若者はすごい。先日久しぶりにフランクフルト交響楽団での庄司紗矢香さんのブラームスのヴァイオリン協奏曲を聴きました。あの小さい身体からは考えられないほどの溢れる力強い音楽、表現！本当にすごかったです。終わって楽屋で彼女の手を触りましたが、本当に細い指でした。上手く、体のバネを使って音を出されているのでしょう。

数日後、山根一仁くんが1日でバッハの無伴奏6曲を弾くりサタルがありました。素晴らしいコンサートでした。バッハを自分のものとし、とにかく楽しくバッハと戯っていました。彼もまた前世から何回もバッハを弾いてきた1人でしょう！

今、評判の石田組の石田泰尚さんもそうでしょう。いろいろな曲を何回も前世で弾いてきた人だと思います。その代表はやはり、故玉木宏樹氏、時代の先端を行っていました。もう一度彼に会いたい！

今のクラシック音楽界のことを何と呟くでしょう！

ムッシュ黒木の純正律講座 第80回
平均律普及の思想的背景について(69)

純正律音楽研究会理事 黒木朋興

美とは何か？という問に対して、完全に客観的な基準を示すことは出来るのだろうか？この問題は、芸術表現を政治と切り離すことなど出来るのか？という問題に通底していることを前回確認した。この作品の美の数値は59点だから、芸術と認めるにはあと1点足りない、という判断がありえないのと同様に、「ロックに政治を持ち込むな」という主張は一つの夢にしか過ぎない。

もちろん、自分が好きで繰り返して聞いている楽曲を演奏しているミュージシャンが、実は自分と違うどころか、自分が嫌悪する政治思想を語っているとしたら、興醒めし幻滅してしまうというのはよく分かる。だからミュージシャンに政治的発言はして欲しくないという声が上がるのだろう。しかし、そもそもそんなことは可能なのだろうか？ロックは元々政治性が強い音楽だし、芸術創作は彼らかのメッセージを孕むものだ。そもそも表現活動自体が何からの判断に基づいている。一つの判断をする以上、政治との関わりを切ることなどできはしない。

人の思考というのはその人独自のもので、そっくりそのまま他の人と同じということはあり得ない。つまり、人の数だけ判断があることになる。そして人それぞれに違う複数の判断を調整してまとめ上げる営みが政治ということになる。

もし神がいて唯一の絶対的に正しい判断を示してくれるとするならば、問題になるのは、様々な意見の調整ではなく、正解に辿り着くための努力ということになり、政治は後景へと退くことになるだろう。もちろん、神がいると想定したところで、神はそれぞれの人間に直接教えを授けるわけではなく、選ばれた人間＝預言者に言葉を託すだけなので、その言葉の解釈を巡って様々な意見が出現し、その調整のために結局は政治が出現してしまうことになる。ただし絶対的に正しい神の判断を目指す、という目標はすべての人が認める前提なので、ここには政治は生じない。政治とは異なる複数の意見があつて初めて出現するものだからである。

神の判断のように、誰もが異論がなく認めることができる美の基準があるとすれば、芸術は政治から解放されることになるだろう。自然科学、その中でも特に実験物理学が数値で厳密に証明できるように、美が数値で客観的に規定できれば、誰もが美について異論なく合意できることになる。だが、実際には一つの芸術作品への評価は一人一人異なったものになる。そこには必然的に感情が働いてしまうからだ。ハンスリックが音楽の評価に感情を持ち込むことを必死で否定したのも、彼が絶対的な美の基準を求めていたからに他ならない。

また、かつて自然科学で証明されたことは政治的な価値判断を含まず完全に客観的な事実とみなされた時代もあったが、現在では自然科学ですらもその

時々の社会の趨勢に応じた価値観に左右されると考えられている。人の感情に決して動かされることのない絶対的な真理など、もはや望むべくもない。

ハンスリックが追求した絶対的で客観的な美の基準など夢物語にしかすぎず、何が美しくて何が美しくないかという判断には、人それぞれの感情に左右され多様な判断が生じることが必然である以上、政治から無縁の音楽などこの世には存在しないことになる。仮に芸術作品において一切の政治性が許されていない社会があるとすれば、それは権力者が政治的な芸術を排除しようとしているだけであり、それこそがまさしく政治の産物ということになるだろう。

クラシック埋蔵金・発掘指南書(その3)

純正律音楽研究会 初代代表
玉木宏樹遺作

3. 楽しくなければ音楽じゃない

*本当に楽しいということは

前にも書きましたが、音楽は楽しく聞きたいものです。本当に楽しいということは、美しい場合も、悲しい場合も同じで、素直に感情移入できるかどうかにかかっています。では楽しい音楽とはどういうことなんでしょうか？それは一にもニにも作曲家のモチベーションにかかっています。作曲者自身が大いに楽しみ、その楽しみをみんなでわかちあうということではないでしょうか。

楽しい音楽というのは決して軽兆浮薄ではありません。だから、どうだ楽しいだろうという書き方はすぐに見透かされ、必ず失敗します。つまり単なる受け狙いはダメだということです。その点、アメリカのルロイ・アンダーソンは楽しい職人として素晴らしい存在です。しかし、暗くて重いのが音楽だと思っている人からは単なる娯楽音楽じゃないかとバカにされたりします。音楽とは、音を楽しむと書くのにそういう人たちは音楽を楽しんではいけない、それは罪だ、とでも言っているように思えてしまいます。

江戸時代、町人文化は大いに栄え、ややもすれば頽廃的になって行く傾向に歯止めをかけるため、幕府は四角四面の堅苦しい能狂言こそが本物の芸だとして全面的にバックアップし、単なる楽しみを奪ってきました。そういう風潮の中で客が笑ったということに腹を立てた狂言の師匠が若い者を芸が足りないと笑ったという話があります。そんな能狂言のウラで町人は相も変わらず、浅草近辺の場末の芝居小屋でたいへん卑猥な演しものに笑い転げていた、という町人の生命力を証明するような報告もあります。

音楽を楽しくさせないもうひとつの因子があります。それは、音楽評論家、レコード評論家諸氏のいかにも、という論陣です。「彼女の内面の成長を思わせる深い音楽性」なんて、何を言っているのか全くわかりません。また CD の評論にしても、「指揮者×氏の解釈はすばらしく、特に×楽章の音楽性は新境地を招いた」等と書いているその楽章の演奏がひどく、オーケストラの音抜けが多い、などということはよくあることです。スコアを見ればすぐ分かることなの

に、面白くさがっているのでしょうか。また、いろんな賞を歴史的で、超有名な評論家、Y田秀X氏、NHK FMの解説で、イザイのある無伴奏ソナタのことを「この曲は3楽章あり、すべてシャープひとつのト長調です」と堂々とおっしゃいました。実は「すべてシャープひとつのホ短調」だったのです。

*音楽と笑い

音楽にはいろんな感情表現の諸様相があります。ドイツ絶対音楽観では、音楽の自立性に反するそういう表現はかなり低次元のものということになります。しかし昔から、お芝居の伴奏音楽、一般には付随音楽といわれる分野があり、ビゼーの「アルルの女」、グリーグの「ペール・ギュント」等が有名ですが、あのベートーヴェンですら「エグモント」「コリオラン」「アテネの廃墟」等の附随音楽を書いています。現代では映画音楽やドラマの伴奏音楽がそれに当たります。そこでは当然「愛のテーマ」「悲しみのテーマ」「スリル・サスペンス」「疑い」「コミック」「格闘」「追っかけ」等々の音楽が要求されます。日本人の作曲家は情緒表現に自信があるとうねばれていますから「悲しみのテーマ」や「愛のテーマ」を書かせたら自分は世界一などと言いながら、その他の曲は不得手な人が多いです。「格闘」や「追っかけ」「スリル・サスペンス」なんかは格好いい音楽が書けなくて、泥臭い曲ばかり書く人が多い。その中にあって、私も苦手なのが「コミック」です。音楽で笑うというのは実に難しくて、日本人の殆んどは討ち死にでしょう。

だいたい、受け狙いで笑いを取ろうとすると、音楽が下品になります。例に出すのは失礼かも知れませんが、日本テレビの長寿番組「笑点」のテーマ音楽(中村八大さん作曲)は、ラッパ類の「ワンワンミュート」や豆腐屋のラッパを始めとするおもちゃ類が大活躍する大にぎやかし音楽です。いわば寄席への呼び込み音楽としては大成功だと思いますが、決してお上品とはいえないですね。

笑わせるという意図が丸見えじゃなく、結果としてあまり鮮やかな芸を見せられ痛快のあまり笑っちゃうしかない、という至高の芸が本物の笑いの極致ではないでしょうか。CD紹介の所で詳しく説明しますが、とりあえずここで軽く紹介しておきましょう。

1. CLASSIC MEETS CUBA

猛烈にうまいキューバ・ミュージシャンによる、ラテン乗りのクラシック料理、コントラバスの妙技が聴きものです。

2. Mozart in Egypt

エジプト民族楽器とブルガリアのオーケストラによるモーツアルトです。少し下品ですが・・・。

Music for Fun

リコーダー夫婦によるサーカス芸です。

玉木宏樹の大冗談音楽会

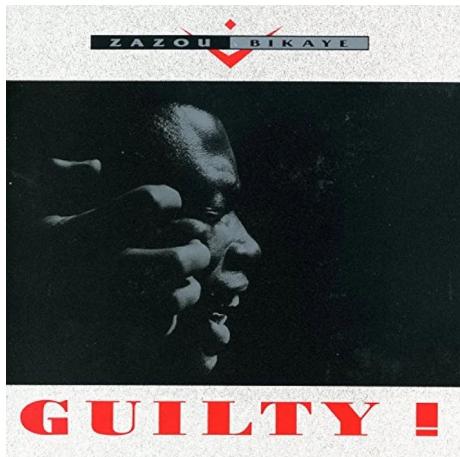
自分のものをここに書くのは気がひけるのですが、「熊ん蜂の飛行」ではドレミで歌いながらヴァイオリンを奏でています。CDを聴いた人全員が、ドレミ唱法はダビングしたんだろうと言われるのが残念。

この他に「Dragon Tongue」を紹介します。これは多分ネット上でも入手困難だと思われる所以ここに書いておきます。アメリカの恐ろしく芸達者のクラリネット奏者が、猛烈なタンギングと循環呼吸でパガニーニの「無窮動」をやつ

つけています。

なんだか「笑い」に拘りすぎたようです。「笑い」を紹介する本ではないので、とても美しい曲もたくさん紹介しています。バーバーの「ノックスヴィル、1915年の夏」、ディーリアス「天国への道」ノヴァーク「スロヴァク組曲」は絶品です。

CD レビュー純正茶寮
HECTOR ZAZOU/BONY BIKAYE
『Guilty』
純正律音楽研究会理事 黒木朋興



HECTOR ZAZOU/BONY BIKAYE
『Guilty』

EAN : 0017531546020

レーベル : Crammed Disc Belgium

ASIN : B00005YMAP

私が紹介したアーティストで玉木さんが特に気に入っていたのがこのHECTOR ZAZOUだ。彼は作曲家とクレジットされているが、作曲すると言うよりは様々な地域の音楽を集めたり、共演するミュージシャンの楽曲を取り上げたりして、それらをアレンジしリミックスし直して発表し続けたという珍しいアーティストである。声楽も数多く扱っているので多くの作品で純正律の響きを聞くことができ、それ故、玉木さんは気に入っていたのだろう。

HECTOR ZAZOUのリミックス技術で特筆すべきはリヴァーブのかけ方だ。通常、リヴァーブは深くかけると音源が遠くにある様に聞こえることになる。ところが彼のアルバムでは、それほど遠く音源がある様に感じない。残響はあるものの、近くで音が鳴っている様な感じなのだ。正直、どうやっているのか分からぬのだが、できることならば自分も真似してみたいものだと思っている。

このアルバムはアフリカのヴォーカル、BONY BIKAYEとの共演である。基本的にハモリはなく、打ち込みのリズムが続くダンス音楽なので、純正律音楽研究会の会員の皆様向けの音楽とは言い難い。しかし、例えば、一曲目、Guilty のエレキギターのように、ディストーションのかけ方が絶妙で倍音の響きが綺麗に出ている楽曲は、この場で紹介するに値する。まさにエフェクターの魔術師とも言うべき腕前である。私が好きなのは三曲目のBinagweで、この曲だけはダンス仕様ではなくアフリカのしっとりした歌声が響く。特に、この曲のギターソロがなんとも言えず繊細な響きを出している。

イスラーム教は何処から来たのか

NPO 法人 純正律音楽研究会
正会員 弁護士 齋藤昌男

目次

- 第1、 緒論
- 第2、 預言者一覧
- 第3、 コメント

記

第1、 諸論

イスラーム教は、何処から来たのか調べようと思い、クルアーンを読んだりしましたが、なかなか分かりませんでした。さる日、クルアーンに預言者一覧表が出ているのに気が付きました。クルアーンには、25名の預言者が登場します。「イエス・キリスト」も預言者の一人です。「ムハンマド」も預言者の一人です。クルアーンにのみ登場する預言者は2名おります。すると、残りの23名が、クルアーンと旧約聖書に共通して登場する預言者達です。

第2、 預言者一覧

以下クルアーン表記と旧約聖書表記を対比させ、旧約聖書表記の後に英語聖書の表記、そして若干の解説を加えました。Qと言うのはクルアーンからの引用、旧約聖書からの引用は書名を入れてあります。クルアーン表記と旧約聖書表記をだけを見ると、別人に見える場合もありますが、あくまで同一人物です。クルアーンと旧約聖書で一番違っているところは、イブラーヒーム(アブラハム)が犠牲に捧げるよう命じられた息子は誰かと言うことです。

1、(1)アーダム(クルアーン表記)

最初の人間、人類の祖、人類の父と呼ばれます。神は、妻ハウワー(イヴ)を創造し、2人を楽園に住まわせましたが、悪魔(蛇ではない)の虚言に騙されて、禁じられた楽園の果樹(種類は特定されていない)を食べたため、2人は楽園を追放され、地上に落ちました(Q7:19-25)。伝説では、両者が再会したのが、マッカ郊外のアラファの野であったと言われています。その後2人の子孫が人類となり、アーダムは最初の預言者とされています。マッカはアラビア半島西部の都市でイスラーム第1の聖地であり、ムハンマドの生地です。カアバ神殿が

あり、イスラーム以前からの巡礼地でした。

(2)アダム(Adam)(旧約聖書表記)

ヘブライ語で、「人間」あるいはむしろ人類を意味する普通名詞ですが、旧約聖書の創世記に記されている人類創造の物語のなかで、最初に人類に与えられた固有名詞です。

2、(1)イドリース(クルアーン表記)

Q19:56「また、この啓典の中で、イドリースの物語を話しなさい。確かに彼は、誠実な預言者でした。」

(2)エクノ(Enoch)(旧約聖書)

(a)「創世記」(4:17、5:21-24)に登場する人物で、カインの息子、アダムの孫で、イラドの父親です。カインが弟アベルを殺した罪により追放されたのち、辿り着いたノドの地で妻を知って生まれた子がエクノです。エクノは、旧約聖書「創世記」や、エチオピア正教では旧約聖書の正典に含まれる「エクノ書」「ヨベル書」にその名前が現れる人物です。

(b)新約聖書では、「ユダの手紙」の中、14 節及び 15 節で「エクノ書」からのエクノの最後の審判に関する予言の部分が引用されています。このことから初期キリスト教徒にも「エクノ書」が読まれていたことがうかがえます。

3、(1)ヌーフ(クルアーン表記)

旧約聖書のノアです。神が地に満ちた不信仰を払拭するために洪水を起こした際に、方舟を作り救済されました。クルアーンには、34ヶ所に登場します。クルアーンには、方舟の詳細は書かれていませんが、洪水後に方舟が到着したのは、トルコにあるアララト山と信じられています。イエメンの伝説ではサヌアの郊外の山に到着したとされています。

(2)ノア(Noah)(旧約聖書表記)

原初の時代、人間の悪に心を痛めた神は、大洪水によって大地を一掃しましたが、義人ノアに方舟の建造を命じて、その家族と鳥獣の全種に洪水の難を逃れさせました(創世記 6:5-8:22)。洪水物語は「ギルガメッシュ」叙事詩などのメソポタミアの伝承に遡ります。またヨセフは、ノアの方舟がアルメニア山中に横たわり、それになお残るアスファルトがお守りに用いられていた、との伝承を伝えています(「古代誌」1:3:6)。

4、(1)フード(クルアーン表記)

アラビア半島南部のアードの民に遣わされたアラブ人で、ヌーフ(ノア)よりも数世紀後に属する預言者です。アードの民はフードの言葉に耳を貸さず、懲罰を受けて滅ぼされました。その経緯は、クルアーン(Q11:50-60)に詳しく書かれています。イエメンのハドラマウント(同名の涸れ谷が広がるイエメン共和国の東部の地域で、内陸都市のタリームは、シャーフィー学派の学習センターにフードの墓と言われるものがあります。クルアーンではフードは固有名詞として意外に、ユダヤ人を指す一般名詞としても用いられています(Q2:111)。

(2)エベル(Eber)(旧約聖書表記)

「創世記」10 章と 11 章に登場し、エベルは、464 歳まで生きたと書かれており、「創世記」10 章 21 節では、セムはエベルの全ての子孫と記述されています。ユダヤ人の別名「ヘブライ人(ヘブル人)」は、エベルの名前に由来するとされています。」

5、サーリフ(クルアーン表記)

アラビア半島北部のサムードの民に遣わされたアラブ人の預言者です。クルアーンに名を挙げられた預言者の一人ですが、聖書的人物ではありません。ヒジャース地方(サウジアラビアの紅海寄り西部山岳地帯)にマダイン・サーリフ(サーリフの町)と呼ばれる遺跡があります。サーリフは、サムードの民にアッラーへの信仰を訴え、印として送られた雌のラクダを自由に放牧させるよう命じましたが、彼らはサーリフの言葉を信じずにラクダを殺し、滅ぼされました(Q7:73-79、11:61-68、91:11-15 その他)。

6、(1)イブラーヒーム(クルアーン表記)

旧約聖書のアブラハムで、ハリール・アッラー(アッラーの友)と呼ばれています。クルアーンの記述は多く、14章はイブラーヒーム章と名付けられています。イブラーヒームは、旧約聖書の記述などから紀元前19-17世紀の人物と考えられていますが、イスラームは年代確定には関心が薄く、イブラーヒームは純粋な一神教徒(ハニーフと呼ばれる)です。クルアーンを引用すると(Q3:67、68)、「67、イブラーヒームは、ユダヤ教徒でもキリスト教徒でもありませんでした。しかし、彼は真っ直ぐなムスリム(アッラーに従う人)であり、多神教徒(の一人)ではなかったのです。68、確かにイブラーヒームに最も近い人々は、本当に彼に従う人達であり、そしてこの預言者(ムハンマド)と信仰する人達です。アッラーは信仰する人達に近いのです。」

イブラーヒームは、メソポタミアの出身で、郷里の偶像崇拜を批判しましたが、人々は従わず、彼を迫害しました(Q21:51-70、6:74-83)。その後、彼は、シリア、パレスチナ、エジプトへと移住し、さらにアラビア半島に渡り、息子のイスマーイール(イシュマエル)とともにカアバ神殿を建設しました。

(2)アブラハム(Abraham) 旧約聖書表記

正教会では「アウラアム」と言います。旧約聖書は「多くの人の父」との音の類似から「諸国民の父」と解釈(創世記17:5)されます。この人物については、創世記11:10-26が資料です。

7、(1)イスマーイール(クルアーン表記)

イブラーヒーム(アブラハム)の息子で旧約聖書のイシュマエルです。旧約聖書の記述とイスラーム教の教えが最も異なる点は、イブラーヒームが息子を犠牲に捧げる様に命じられた故事において、その息子を旧約聖書がイサク(アラビア語ではイスハーク)とするのに対して、イスラーム教ではイスマーイールとする点であります。犠牲に捧げる様に言われたのが一人息子であった以上、それは先に生まれたイスマーイール以外にありえないとして、イスラーム教は、ユダヤ人による歴史の改竄を批判しています。イスマーイールの名は、クルアーンに12ヶ所言及されており、彼は父とともにカアバ神殿の建設を行い、マッカに定着して、アラブ部族の女性と結婚し、アラブ化してアラブ人の祖先となりました。イスマーイールの系譜から最後の預言者ムハンマドが生まれました。イスハークは、その子ヤアクーブ(ヤコブ)を通じてイスラエルの民の祖となり、その系譜からムーサー(モーセ)、ダーウード(ダビデ)、スライマーン(ソロモン)など多くの預言者が現れました。

(2)イシュマエル(旧約聖書表記) (Ishmael)

アブラハムが、子供ができなかった妻サラの代わりに、エジプトの女奴隸ハガルに産ませた息子で、嫡男イサクの誕生後は、母バカラとともに追放されます(創世記16:21)。彼の子孫は、のちにアラビア半島の遊牧民系部族となつた

とされます(創世記 25:12-16)。旧約聖書では、そのイシュマエル人が隊商交易を行なう商人として(創世記 37:25、28)、またイスラエルの敵対者として(士師記 8:24、詩篇 83:7)登場します。

8、(1)イスハーク(クルアーン表記)

イブラーヒームの次男でユダヤ人の祖である事は、前記 7 で述べた通りであります。

(2)イサク(旧約聖書表記)(Isaac)

アブラハム(イブラーヒーム)の息子で、両親はなかなか子供に恵まれませんでしたが、神との約束により高齢でイサクをえたとされます(18:1-15、21:1-8)。エソウ(英 Esau)とヤコブ(英 Jacob)の父で、イサクはエソウをより好みましたが、ヤコブは、妻リベカ(英 Rebecca)の計略により、意に反してヤコブの方を祝福してしまいます(創世記 27)。

9、(1)ルート(クルアーン表記)

旧約聖書のロトで、イブラーヒーム(アブラハム)甥に当たります。クルアーンに、ルートはアッラーの使徒としてその民につかわされたと述べられています。彼は人々に、神を畏れ、不義(同性愛や強盗)を止めるよう警告しましたが、彼らは聞き入れず、懲罰として彼らの町は滅ぼされました(Q29:28-35)。旧約聖書におけるソドムの町の物語であります、クルアーンには町の固有名詞は登場せず、描写は簡単です。

(2)ロト(旧約聖書表記) (英 Lot)

アブラハムの甥で、アブラハムと共にカナンの地に移住した後、彼と分かれて悪徳の町ソドムに住みました(創世記 13:12)。ソドムとゴムラの滅亡直前、ヤハウエの使いによって、家族と共にソドムから脱出しましたが、妻は後を振り向いて塩の柱になりました。その後、ロトと共に山地に済んだ 2 人の娘は、酔った父ロトと通じて子を産み、姉の子がモアブ人の、妹の子がアンモン人の祖先になりました(創世記 13:12)。この物語は、イスラームの立場から見れば、モアブ人とアンモン人の民族起源物語ですが、民族的親近感と同時に宗教的忌避感が込められています。

10、(1)ヤアクーブ (クルアーン表記)

旧約聖書のヤコブで、別名イスラエルで、その子孫がイスラエルの民です。クルアーンでは、息子のユーフス(ヨセフ)の物語に伴ってヤアクーブも登場します。彼の息子達は、父が弟ユーフスを寵愛するのを妬み、弟を井戸に捨ててしまします(Q12:8-18)。ヤアクーブは、愛息を失った悲しみで盲目となります(Q12:84)。最後には、エジプトに渡って生きていたユーフスの奇跡により、視力を回復します(Q12:93-96)。ヤアクーブは、実の息子のための不実に苦しいますが、一貫してアッラーを信頼して耐えてきました。「忍耐こそ美德です」(Q12:18、83)がヤアクーブを象徴する言葉です。

(2)ヤコブ (旧約聖書表記) (英 Jacob)

イスラエルの 3 代目の父祖で、イサクとリベカの子でアブラハムの孫に当たります。別名イスラエル(創世記 32:29)で、後のイスラエル 12 部族は、いずれも彼の息子の子孫とされます。

11、ユーフス (クルアーン表記)

(1)旧約聖書のヤコブ(ヤアクーブ)の息子のヨセフで、クルアーンの中で「スィツディーク(真実の人)」とされています。クルアーン第 12 章は、ユーフス

章と呼ばれ、全編に渡って彼の実績が語られています。兄弟から疎まれた幼いユーフスは、彼らによって捨てられてしまいますが、拾われてエジプトに渡り、エジプトの財務大臣の地位に上り、父ヤアクーブ及び兄弟達と再開を果たし、失明した父も視力を回復しました。「エジプトに両親が来たときの」ユーフスの言葉「イン・シャー・アッラー(安らかにお入りください)」(Q12:99)は、エジプト人好みの表現であり、現在もカイロ空港の旅客到着口に掲げられているそうです(岩波イスラーム辞典 1022 ページ 007 の記述)。

(2)ヨセフ(旧約聖書表記) (英 Josepe)

ヤコブの 12 人の息子の一人で、系図的にはエフライム部族と真瀬部族の祖先(創世記 48)です。創世記の最後の部分を占める「ヨセフ物語」(創世記 37-50)の主人公です。

12、シュアイブ (クルアーン表記)

アラビア半島の中心部の内陸地帯であるナジド地方マドヤンの民に遭わされた、クルアーンに名を挙げられたアラブ人の預言者の一人ですが、聖書的な人物ではありません。シュアイブは、マドヤンの民に、アッラーを信仰し公正な取引をするよう呼びかけましたが、耳を貸さず懲罰が下されました(Q7:85-93)。マドヤンにはムーサー(モーセ)が一時身を寄せていたことがあります。彼の義理の父がシュアイブであると言われています。またシュアイブは、「森の人々」に使徒として遣わされたとされています。(Q26:176-190)。

13、(1)アイユーブ (クルアーン表記)

図書刊行会発行の「クルアーン(やさしい和訳)」1614 ページ及び「岩波イスラーム辞典」1028 ページにアイユーブの名前が出てきます。しかし、説明は、一切されていません。

(2)ヨブ(旧約聖書表記) (英 Job)

旧約聖書のヨブ記は、第 2 章までの伝説の信仰者を描く部分と、以下の論争部分との結合によって成立しています。

14、(1)ムーサー (クルアーン表記)

クルアーンに登場する諸預言者のなかで、最も言及が多く、ムーサーと言う名前自体が 136 回登場します。第 28 章は物語章と名付けられていますが、全編がムーサーの物語です。ムーサーは、長じてイスラエルの指導者となります。聖なる谷で神の声を聞きます。「ムーサーよ、我は諸世界の主アッラーなり」(Q28:30)。ここから彼は、カリーム・アッラー(アッラーと語る者)と呼ばれます。兄のハーレーン(アロン)も、預言者としてムーサーを補佐することになりました。アッラーの命によって、ムーサーはエジプトに戻り、ファラオに真の神を認めるよう迫りますが、ファラオは拒否します。ムーサーはイスラエルの民を連れてエジプトを逃れます。

クルアーンには、出エジプトの顛末やシナイ山で律法を授かったことも記載されていますが、クルアーンは、特にイスラエルの民が、容易にムーサーの命に服さないことに、焦点を当てています。

(2)モーゼ(旧約聖書表記) (英 Moses)

エジプトの奴隸から民を開放し荒野に導き、律法を授与した古代イスラームの指導者です。生後 3 ヶ月、籠に入れられてナイル川に流されますが、エジプトの王女に拾われました。民のエジプト脱出を果たし(出エジプト記 1-15)、その後 40 年間約束の地を目指して民を導き、彼自身は約束の地を目前にしてピス

ガの山頂で 120 年の生涯を閉じました。

15、(1)ハールーン (クルアーン表記)

ムーサー(モーセ)の兄です。大預言者ムーサーの兄で、大預言者ムーサーの補佐役として預言者に選ばれましたが、ムーサーよりも雄弁とされています (Q28:34)。クルアーンには、我(アッラー)は、彼(ムーサー)とともに、彼の兄をワズイールとしました、と書かれています (Q25:35)。イスラーム政治論において、この句がワズイール職(副官、大臣、宰相)の典拠となりました。

(2)アロン(旧約聖書表記) (英 Aaron)

「アロンの子ら」と呼ばれる古代イスラエル時代のアロン系祭司の始祖で、ムーサー(モーセ)の兄です。

16、(1)ズー・アルキフル (クルアーン表記)

二角の主と言う意味で、アレキサンダー大王に比定されるとされています (Q21:85、Q38:48)。

(2)エゼキエル (旧約聖書表記) (英 Ezekiel)

バビロニア捕囚期の預言者です。

17、(1)ダーウード (クルアーン表記)

彼は神に知識を授かり (Q27:15)、その恩寵を受け、山々とともに神を讃える (Q34:10) 預言者であり、また王でありました。神の加護を祈って戦ったダーウードは、ジャールート(ゴリアテ)殺し、アッラーは、彼に王権と叡智を授けました。 (Q2:251)。我(アッラー)は、彼の王権を強め、叡智と裁決力を与えた (Q38:20) と述べられています。

(2)ダビデ (旧約聖書表記) (英 David)

前 1,000 年頃のイスラエルの第 2 代の王で、統一王国を確立しました。ユダの地ベツレヘムの羊飼いエッサイの子で、初代のサウルのもとに戦士として、頭角を表しますが、有能さの故に王の嫉妬を招き、命を狙われて一時宿敵ペリシテの地に亡命しました。ソウルの戦死後王位につき、エルサレムを都に統一国家を確立しました。後にイスラエルが、存亡の危機に陥った時、神が再びダビデのような救済者を遣わしてイスラエルを救うという期待が生まれました (イザヤ書 9:5-6、ミカ書 5:1-3)。これが書謂メシヤ待望であります。

18、(1)スライマーン (クルアーン表記)

ダーウード(ダビデ)の息子です。ダーウードとともに王者=預言者タイプを代表されるとされ(ムハンマドは僕(しもべ)タイプの代表とされます)。スライマーンは、預言者かつ王として、鳥や動物と話す超能力を有し (Q27:16-26)、風やジン(精霊)操り (Q34:12-13)、叡智を授かりました (Q21:7-9)。クルアーンには、スライマーンとシェバの女王との邂逅も言及され、女王が彼の権威を認め、アッラーに帰依したとされています (Q27:22-44)。

(2)ソロモン (旧約聖書表記) (英 Solomon)

ダビデの息子で、イスラエル第 3 代の王です。父の建設した統一国家を継承し、オリエント世界の陸橋地帯としての地の利を生かして周辺諸国への仲介貿易を行い、イスラエルに経済的反映をもたらしました (列王記上 10:14-29)。

19、(1)イルヤース (クルアーン表記)

Q6:85、37:127 に出てきます。

(2)エリヤ (旧約聖書表記) (英 Elija)

ヤハウエ信仰を守るためにカルメル山上でバアルの預言者達と対決しまし

た(列王記上 18)。

20、(1)アルヤサア (クルアーン表記)

Q6:16

(2)エリシャ (旧約聖書表記) (英 Elisha)

イスラエル北王国の預言者で、エリヤの弟子です(列王記上 19:19-21)。エリヤと異なり、一団の預言者の首領出会ったらしい。

21、(1)ユース (クルアーン表記)

Q6:17

(2) ヨナ (旧約聖書表記) (英 Jonah)

ヨナは、「敵国アッシリアの首都ニネヴェに行き預言せよ」と言う神の命令を不服として、反対方向へ向かう舟に乗り込みました。海上で大嵐に遭遇したヨナは、大魚に飲み込まれ、その腹の中で悔悟し、ニネヴェへ行き、その滅亡を預言しました。

22、(1)ザカリーヤ (クルアーン表記)

ヤマヤー(洗礼者ヨハネ)の父で、クルアーン第3章27節によると、ザカリーヤは、イーサー(イエス)の母マルヤム(マリア)の世話人に任命され、彼女に食料を運んでいましたが、常に彼女のもとに新鮮な果物を発見します。そこで彼は、長年の願いであった子供の誕生を神に求めると、年間が家内ヤマヤーを与えられたとされます。

(2)ザカリヤ (旧約聖書表記) (英 Zachariah)

旧約聖書以来ユダヤ人間では一般的な名前で、ヘブライ語読みでは「ゼカリヤ」と言います。

23、(1)ヤフヤー (クルアーン表記)

聖書に出て来る洗礼者ヨハネで、年老いたザカリーヤの祈りに応えて、アッラーが彼の不妊の妻にヤフヤーを生ましめました(Q3:37-40、19:2-9)。クルアーンでのヤフヤーへの言及は、少ないのですが、ヤフヤーが生まれた日、死ぬ日、そして再び生を得て復活する日に彼の上に平安あれ(Q19:12-15)と述べられています。但しイエス・キリストに洗礼を受けた事は、全く重視されていません。ヤフヤー(ヨハネ)は、サロメの要求によって首をはねられましたが、ダマスカスのウマイヤ・モスク内にある廟に首級が埋葬されているとされ、今日でもムスリム達の参詣の対象となっています。

(2)ヨハネ (洗礼者) (聖書表記) (英 John the Baptist)

キリスト教の起源と同じ頃に、ヨルダン川流域で展開した洗礼運動を背景に登場した人物で、当時の洗礼運動の「洗礼」が、実は祭儀的な汚れを淨めるために繰り返し行われる沐浴であったのに対して、ヨハネの洗礼は近づきつつある神の審判を免れるための罪の悔い改めの要求を伴う一回限りのものがありました。

24、(1)イーサー (クルアーン表記)

イエス・キリスト・イーサーは、大予言者の一人として、ムスリムから高い尊敬を受けています。下記のことはクルアーンに明言されています。

(ア) 彼が処女の母マルヤム(マリア)から生まれたこと(Q19:16-27)。

(イ) 救世主(マスイーフ=キリスト)であること(Q3:45)。マスイーフとは、アラビア語で救世主の意味です。

(ウ) 生誕直後に口を開いたこと(Q19:29-33)。

(エ) 死者蘇生などの奇蹟を行なったこと(Q3:49、5:110)。

(才) 終末での再臨も信じられていますが、その時はイスラームが神の教えであることを確証するとされています。

明確に否定されているものは、

(ア) 神の子 (Q10:68)

(イ) 三位一体 (Q4:171)。

(ウ) 磲刑での死 (Q4:157)。

(エ) 神性の否定。イーサーは、アッラーの御許ではアーダムと同じであり、アッラーは、イーサーを土から創造しました(Q3:59)。

この為、キリスト教がイスラームに改宗する際には、2つの信仰告白(シャハーダ)だけでなく、イーサーは、アッラーの僕にして使徒であると、イエスの神性を否定することが求められます。

イスラーム教における預言者の系譜では、イーサーはムハンマドの直前の預言者であり、ムハンマドの到来を予見したことが重視されます。クルアーンの訳文(ここでは優れた岩波文庫の井筒俊彦訳)を引用すると次の通りです。Q61:6「マルヤム(マリア)の子イーサー(イエス)がこう言った時のこと、『これ、イスラエルの子かよ、わしはアッラーに遣わされてお前たちのもとに来たもの。わしより前に(啓示された)律法(トーラー)を確証し、かつわしの後に一人の使徒が現れるといううれしい音信(たより)を伝えに来たもの。その(使徒)の名はアフマド(アフマド Ahmad はマホメットの原名 Muhammad とほぼ同義。この一節はマホメットの出現をキリスト預言していたことを示す有名な箇所。)彼(イエス)が色々のまごうかたない徵(奇跡)を行なって見せると、みな、『これは確かに妖術じゃ』などと言うばかり。』

(2)イエス (聖書表記) (英 Jesus)

25、ムハンマド (クルアーン表記)

クルアーンの中ではアハマド (Q61:6)。

第3、コメント

クルアーンを読んでいる時は発音も違うため、気が付きましたが、キリスト教とイスラーム教とは、こんなに近いものと驚きました。大きく見れば兄弟姉妹とも言えるものではないでしょうか。どうしてこんなにいがみ合っているのでしょうか。

2024年10月22日脱稿

今後のスケジュール

【クリスマスコンサート 2024】

2024年12月24日(火曜日)

開演 14:00 開場 13:30

会場：古賀政男音楽博物館「けやきホール」



おたより募集！

会報のご感想、ご意見、純正律音楽にまつわること等々、なんでもお寄せ下さい。たくさんのお便りを、お待ちしております。

次号の【ひびきジャーナル】にてご紹介させて頂きたいと思っております。

〒168-0072

東京都新宿区百人町 4-4-16-1218 NPO 法人 純正律音楽研究会

お電話：03-5389-8449 FAX：03-5389-8449

e-mail：puremusic0804@yahoo.co.jp <http://just-int.com/>

2024年11月20日 発行責任者：NPO 法人 純正律音楽研究会

編集：相坂政夫

*純正律音楽研究会 YouTube チャンネルを開設しました。

コンサートや CD 紹介の映像が当会ホームページからご覧いただけます。

<http://just-int.com/>